

平成27年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成26年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 大田花き
 コード番号 7555 URL <http://www.otakaki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 磯村 信夫
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役管理本部長 (氏名) 金子 和彦

TEL 03-3799-5571

四半期報告書提出予定日 平成26年8月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	5,540	8.5	1	97.5	26	56.8	16	54.3
26年3月期第1四半期	6,058	1.2	42	0.7	60	2.5	37	2.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	3.33	
26年3月期第1四半期	7.27	

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
27年3月期第1四半期	6,345		4,621		72.8	908.13
26年3月期	6,835		4,666		68.3	916.81

(参考)自己資本 27年3月期第1四半期 4,621百万円 26年3月期 4,666百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期		0.00		12.00	12.00
27年3月期					
27年3月期(予想)		0.00		12.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,470	3.6	70	31.2	95	27.9	61	23.7	12.06
通期	27,034	3.0	286	23.5	321	12.9	207	17.2	40.74

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	5,500,000 株	26年3月期	5,500,000 株
期末自己株式数	27年3月期1Q	410,539 株	26年3月期	410,539 株
期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	5,089,461 株	26年3月期1Q	5,090,224 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
5. 補足情報	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、4月からの消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動で、消費が落ち込んだものの、想定内と考える業界が多く、また企業業績が前年に引き続き改善されていることで、雇用情勢も回復傾向にあることなどから、今後の日本経済の状況については、楽観的な見通しが大勢を占めていると見受けられます。外需においては、アメリカ経済は復調しつつありますが、中国・アジア経済は下向きで、ヨーロッパ経済は依然低調であります。

このような経済状況のもとで当社では、石油価格の高騰から農業用ハウスにおける設定温度を例年より下げる生産地や、2月の大雪でハウスが倒壊し大きな被害が出た生産地があり、予定より出荷時期が遅れたり、例年より出荷量が少なくなりました。

しかし消費税率引き上げに伴い消費マインドが低下するなど、需要の方も減少したことで不足感はなく、縮小均衡のみでありました。特に花のヘビーユーザーである65歳以上が消費を控えたこと、結婚式需要が3月までに前倒しで実施されたことなどが影響し、取扱数量、販売金額とも前年に比べ減少しました。

以上の結果、当第1四半期累計期間(平成26年4月～6月)の業績は、売上高5,540,952千円(前年同四半期比8.5%減)となり、内訳をみますと、切花の取扱高4,875,628千円(前年同四半期比9.0%減)、鉢物の取扱高632,965千円(前年同四半期比6.0%減)、付帯業務収益32,357千円(前年同四半期比12.1%増)となりました。利益につきましては、営業利益1,055千円(前年同四半期比97.5%減)、経常利益26,206千円(前年同四半期比56.8%減)、四半期純利益16,929千円(前年同四半期比54.3%減)と減収減益となりました。

なお、当社は花き卸売事業単一セグメントであるため、セグメント別の記載は行なっておりません。

切花、鉢物に関する概況は次の通りです。

切花

売上金額	4,875,628千円(前年同期比9.0%減)
取扱数量	93,285千本(同 2.2%減)

・4月の時点では、菊類・バラなど多くの品目で前年に比べ入荷量が減少しました。これは冷え込み、暖房費の高騰による加温不足の影響によります。また、LAユリは、主力産地のある埼玉で、2月の大雪によりハウスが倒壊、甚大な被害を受けたことで生産量・入荷量が大きく減少しました。需要面では、消費税率引き上げなどにより小売店店頭などで客足が鈍ったため、当社からの仕入れも例年に比べ伸び悩みました。そのため、品薄でありながら、引き合いも弱く、相場が崩れる局面が見られました。

・5月には母の日に向け、定番の赤系カーネーションが品薄高となりました。反面、スプレータイプのカーネーションは受注が伸びず、マーケットは縮小傾向にあります。小売店でも母の日に向け、計画的に仕入をしたところでは前年並みかそれを上回る結果となりましたが、そうではないところは、販売に苦戦するなど、明暗が分かれました。母の日は、大きな需要がないことや、産地の切り替わり時期で品質が安定しないことなどから、厳しい相場展開となりました。

・5月の下旬から6月にかけて、気温の上昇や産地の切り替わりがスムーズにいかず、複数の産地から重複して入荷があることなどから、入荷量が前年並みかそれを上回るようになりました。特に白菊の上位等級品は、潤沢に入荷したため、需要に対して供給過多となり、相場が下落しました。対して、小菊は開花が予定より早まる産地もあり入荷量が前年より多くなったものの、需要も旺盛なことで品薄感があり、堅調な販売となりました。

鉢物

売上金額	632,965千円(前年同期比 6.0%減)
取扱数量	2,953千鉢(同 2.5%減)

・洋ラン類の主力であるファレノは、前年に比べ年度末からの人事異動や事務所移転、新規開設などから派生する法人需要が回復し、動きは堅調でした。しかし近年の原油高などによる生産コストの上昇に耐えられず、生産を縮小したり他の農産物へ移行する産地もあり、生産量は年々減少傾向にあります。また産地・商品の新規開拓が十分でなかったことから、需要に応えることができない状況が6月まで継続しました。その結果、入荷量・販売金額ともに前年を下回りました。

・母の日商戦は、主力のカーネーションにおいて入荷量は前年並、販売金額は前年を下回る結果となりました。これは多くの産地が出荷調整をし、入荷が短い期間に集中してしまったため相場が大きく崩れたことによります。また、出荷の前段階で開花が進んでしまったことなどから、相対や注文の価格も下落しました。カタログギフトにおいては、需要のサイクルの中で花鉢が売れにくい年であったことや、他商品との競争が激化していることなどから取扱数量が伸びず、苦戦しました。

・母の日以降、ブライダル向けのピンクや青のアジサイの需要が高まりました。アジサイは、小売りにおいても新品种の動きが好調で、前年に計画した見込み数量を販売することができました。しかし、2月の大雪の影響により出荷不能となった産地があり、アジサイ全体の入荷量は減少し、販売金額も前年を下回る結果となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比較して490,069千円減少し6,345,490千円となりました。その主な内訳は売掛金の減少637,008千円、現金及び預金の増加118,679千円であります。

負債につきましては前事業年度末と比較して445,925千円減少し1,723,588千円となりました。その主な内訳は受託販売未払金の減少431,074千円であります。

純資産につきましては前事業年度末と比較して44,144千円減少し4,621,901千円となりました。これは剰余金の配当により61,073千円減少し、四半期純利益の計上により16,929千円増加したことによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末より518,679千円増加し、2,479,066千円となっております。

営業活動の結果増加した資金は、168,121千円(前年同四半期は27,409千円の減少)となりました。主な増加要因は、売上債権の減少630,597千円によるものです。また、主な減少要因は、仕入債務の減少434,200千円、法人税等の支払額77,077千円によるものです。

投資活動の結果増加した資金は、365,436千円(前年同四半期は171,400千円の増加)となりました。主な要因は、定期預金の払戻による収入400,000千円によるものです。

財務活動の結果減少した資金は、14,878千円(前年同四半期は10,342千円の減少)となりました。この要因は、配当金の支払額9,824千円及びリース債務の返済による支出5,054千円によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月9日に公表しました第2四半期(累計)及び通期の業績予想数値につきましては本日(平成26年8月8日)発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて修正いたしました。当該業績予想の修正の詳細につきましては本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は「法人税等」に含めて表示しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,560,386	2,679,066
売掛金	1,781,764	1,144,756
その他	104,694	135,377
貸倒引当金	△8,011	△6,312
流動資産合計	4,438,834	3,952,887
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	129,961	127,007
工具、器具及び備品(純額)	228,842	216,903
その他(純額)	155,321	155,191
有形固定資産合計	514,125	499,103
無形固定資産	172,781	166,721
投資その他の資産		
関係会社株式	603,735	633,735
長期前払費用	123,846	118,524
その他	1,048,868	1,048,326
貸倒引当金	△29,033	△36,208
投資損失引当金	△37,600	△37,600
投資その他の資産合計	1,709,817	1,726,778
固定資産合計	2,396,724	2,392,602
資産合計	6,835,559	6,345,490
負債の部		
流動負債		
受託販売未払金	1,272,489	841,415
買掛金	27,409	24,232
未払法人税等	81,921	11,777
賞与引当金	22,134	28,408
その他	174,572	237,082
流動負債合計	1,578,526	1,142,915
固定負債		
退職給付引当金	240,137	250,037
その他	350,849	330,635
固定負債合計	590,987	580,673
負債合計	2,169,514	1,723,588

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	551,500	551,500
資本剰余金	402,866	402,866
利益剰余金	4,060,703	4,016,559
自己株式	△349,024	△349,024
株主資本合計	4,666,045	4,621,901
純資産合計	4,666,045	4,621,901
負債純資産合計	6,835,559	6,345,490

(2) 四半期損益計算書

(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	6,058,958	5,540,952
売上原価	5,461,779	4,992,201
売上総利益	597,178	548,750
販売費及び一般管理費	554,645	547,695
営業利益	42,533	1,055
営業外収益		
受取利息	1,346	1,250
受取配当金	13,000	19,500
その他	3,967	4,539
営業外収益合計	18,314	25,289
営業外費用		
固定資産除却損	8	138
保険解約損	155	—
営業外費用合計	164	138
経常利益	60,683	26,206
税引前四半期純利益	60,683	26,206
法人税等	23,666	9,277
四半期純利益	37,016	16,929

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	60,683	26,206
減価償却費	39,729	40,020
賞与引当金の増減額(△は減少)	19,430	6,274
退職給付引当金の増減額(△は減少)	7,220	9,900
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△574	5,476
受取利息及び受取配当金	△14,346	△20,750
有形固定資産除却損	8	138
売上債権の増減額(△は増加)	475,343	630,597
仕入債務の増減額(△は減少)	△558,003	△434,200
未収入金の増減額(△は増加)	△41	7,095
未払費用の増減額(△は減少)	△4,020	△1,334
未払金の増減額(△は減少)	△12,971	△16,367
未払消費税等の増減額(△は減少)	2,725	15,191
その他	△19,736	△43,884
小計	△4,554	224,362
利息及び配当金の受取額	14,815	20,836
法人税等の支払額	△37,670	△77,077
営業活動によるキャッシュ・フロー	△27,409	168,121
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△400,000	—
定期預金の払戻による収入	600,000	400,000
有形固定資産の取得による支出	—	△2,120
無形固定資産の取得による支出	△2,500	△6,695
関係会社株式の取得による支出	—	△30,000
貸付けによる支出	△25,000	—
貸付金の回収による収入	64,400	78,251
関係会社貸付けによる支出	△65,500	△74,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	171,400	365,436
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△5,592	△9,824
リース債務の返済による支出	△4,749	△5,054
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,342	△14,878
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	133,647	518,679
現金及び現金同等物の期首残高	2,348,905	1,960,386
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,482,552	2,479,066

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、花き卸売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

5. 補足情報

売上高明細

	前第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)		当第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)		前年同期比	
	数量 (千本)	金額 (千円)	数量 (千本)	金額 (千円)	数量	金額
キク類	20,206	896,920	19,642	830,842	97.2%	92.6%
洋ラン・バラ・カーネーション	24,392	1,521,636	24,211	1,376,098	99.3%	90.4%
球根類	10,243	860,777	9,810	748,048	95.8%	86.9%
草花類	27,906	1,439,530	27,479	1,326,888	98.5%	92.2%
枝物・葉物	12,599	637,791	12,141	593,750	96.4%	93.1%
切花 小計	95,348	5,356,655	93,285	4,875,628	97.8%	91.0%
鉢物	3,028	673,444	2,953	632,965	97.5%	94.0%
花き 合計	98,376	6,030,100	96,239	5,508,594	97.8%	91.4%
付帯業務料	—	28,858	—	32,357	—	112.1%
売上高 合計	—	6,058,958	—	5,540,952	—	91.5%

(注) 1 上記の金額には、消費税が含まれておりません。

2 上記の数量は、本数で集計しておりますが、鉢物のみ鉢数で集計しております。